

桜の植樹と25周年記念レセプション



当館は、欧州評議会オブザーバー加盟25周年を記念し、我が国の象徴として世界中で知られ、愛されている桜の木を欧州評議会に寄贈しました。

11月22日、この桜の植樹式が、アマル・ストラスブール市議会議員、チャツィヴァシリウ＝ツォヴィリス欧州評議会議員会議事務局長、当地外交団の出席の下、欧州評議会本部前庭で開催され、赤松総領事とベルゲ事務次長は、我が国と欧州評議会との関係のさらなる発展を祈り、ともに植樹を行いました。

植樹式の後、欧州評議会本部ロビーにて、同じく11月で欧州評議会加盟25周年を迎えるクロアチアと共同でレセプションを開催しました。

開会に当たり、グルリッチ＝ラドマン・クロアチア外務・欧州問題大臣、赤松総領事及びベルゲ事務次長が祝辞を述べ、その後、当地で活躍する三味線奏者の辻英明氏が、桜植樹にちなんで唱歌「さくら」を演奏し、記念レセプションに花を添えました。

今回の桜植樹イベントをもって、欧州評議会オブザーバー加盟25周年を記念する一連の行事は終わりを迎えました。一年を通じ記念行事の開催を支援してくださった方々、そして25年のあゆみを支えてくださった方々に、心より感謝申し上げます。

我が国は、これからも欧州評議会のオブザーバーとして、我が国と欧州が共有する三つの価値、すなわち人権、民主主義及び法の支配に基づき、協力を深化させてまいります。